R8　チーム学校・チームうすきの推進

【本年度の重点】
○　生徒指導・教育相談・特別支援教育が一体となった「チーム学校」（校内連携型支援チーム）による予防的生徒指導（含：いじめ・不登校への未然防止・早期対応）の推進
○　多職種の専門家と学校が連携する「チームうすき」（ネットワーク型支援チーム）による困難課題への対応と支援策の構築
○　高度化する保護者対応に係る教職員（管理職）向け研修の実施

1 「チーム学校」による生徒指導体制の構築
（1）校長のリーダーシップの下、教職員や各専門スタッフがそれぞれの専門性を発揮できる学校組織の構築
（2）生徒指導と教育相談、特別支援教育等が一体となった多面的な児童生徒理解の促進
（3）教育相談コーディネーター及び生徒指導主事（生活指導主任）の機能強化
（4）養護教諭を中心とした生徒指導における健康課題への対応
（5）全ての児童生徒を対象とする予防的生徒指導の推進
（6）CS（学校運営協議会）と連携した、地域ぐるみの児童生徒の見守りと協働体制の構築

2 「チームうすき」による困難課題への対応
（1）心理・福祉・特別支援教育・子育て等の専門家からなる「チームうすき」の役割理解と積極的活用
（2）「チームうすき」と連携した困難課題への対応（チームカンファレンス・ケース会議の開催）
（3）「解決志向アプローチ」を活用した「チームうすき」による支援体制の確立
（4）小中学校間や要保護児童対策地域協議会との情報共有による課題の早期発見や迅速な対応
（5）「チームうすき」を活用した教職員のアセスメント力及び生徒指導に係る対応力の向上
（6）担当指導主事による保護者及び学校対応専用窓口設置に向けた検討

3　個別の課題に対する生徒指導
（1）各学校の「いじめ防止基本方針」に基づく、いじめの未然防止教育の推進と早期発見・早期対応の徹底
（2）「魅力ある学校づくり」及び教育相談や個に応じた指導の充実による不登校の未然防止と早期対応の徹底、
（3）ヤングケアラーや貧困家庭、虐待事案の早期発見と関係機関との確実な連携
（4）児童生徒の SNS 利用に係る課題の把握、保護者や警察等と連携した予防的取組の推進
（5）多様な背景を持つ児童生徒の理解促進、校内における安全基地となる人や場所の確保

4　各学校における予防的生徒指導の在り方
（1）「あったかハート0・1・2・3」推進による不登校の初期対応の徹底
（2）hyper-QU 調査を活用した児童生徒の内面理解と学校（学級）風土の改善
（3）定期的・計画的な人間関係づくりプログラムの実施によるいじめ・不登校の未然防止
（4）スクールロイヤーを活用したいじめの予防に向けた教育推進や生徒指導上の諸課題の解決支援
（5）教育支援センター「きずな」との連携による社会的自立に向けた支援の充実
（6）児童会・生徒会活動の充実による、児童生徒が主体的に参画する学校・学級づくりの推進
（7）児童生徒理解や保護者対応等に係る職員（管理職）向け研修の実施
（8）2学期始めのリラックス・スタートの実施による、学校生活への円滑な適応と心理的負担の軽減などの不登校対策